

『地域とともにある学校』

(弘前市教育委員会 教育委員 村谷 要)

子どもたちが、自分の将来の夢を考える時、どのようなことが影響するのでしょうか？社会環境、産業・経済の構造的な変化、雇用の多様化・流動化、情報技術革新、グローバル化、少子高齢化、消費社会など、暮らしている身近な地域の変化が大きく影響を及ぼしています。子どもたちは、自分の将来を考えるのに役立つ理想とする大人のモデルが見付けにくくなっているのかな？自らの将来に向けて希望あふれる夢を描くことも簡単ではなくなっているのかな？と自問することもしばしばです。大人が変化についていけない中、多様性の中で戸惑うのは当たり前かなと…。皆さんそんな風に考えることはありませんか？

小生は今、弘前商工会議所に席を置き、弘前大学非常勤講師、教育委員を務めています。大学生、高校生、中学生、小学生と関わり、地域の骨太な産業を紹介し「ひと」「もの」「こと」「ところ」を繋げる自由電子的な役割がその一つです。

例えば大学生には、弘前地域活性化のコンセプト『弘前感交劇場』を通して地域の『創発活動』を紹介しています。弘前地域を劇場と見立て、五感で感じた感動を交流させる場として『劇場型まち育て』を推進しています。弘前の地域資源である「ひと」「もの」「こと」「ところ」の「点」を繋げ「線」から「面」へ、最終的には「立体」へと構築する仕組み創りです。高校生とは、「全国高等学校ファッションデザイン選手権大会（ファッション甲子園）」という全国大会の運営を通して、青森県高等学校文化連盟と連携し、高校生が考え感じる交流の場を、文化部の活動の場として共有できないか試行錯誤しています。また中高生とは、弘前の地域資源を活用した商品開発や、SNSを活用した情報発信を彼らの瑞々しい感性で取り組んでもらう「WEB コンテスト」を実施しています。このコンテストは『弘前の魅力発信』をテーマに、ホームページ、動画、SNS（Facebook・Twitter・Instagram）など、どんなものでもOK！弘前市の歴史、文化、グルメに限らず「自分達の学区紹介」などテーマは自由！中高生の目線で『弘前の良いところ』を発信してみましよう！今まで見落としていた新しい弘前の魅力を発掘してもらっています。このコンテス

トを『祀学』の発表の場として活用してみたいという中学校も出てきました。

地域とともにある学校を考える時、他者と社会のかかわりを通して生きる力を養う、『場の経営』が教育委員会に求められていると思います。それには、小中高大の一貫した地域における関係性の構築が必要となります。それは、学校組織や教職員の関係性にとどまらず、児童生徒学生の関係性がより重要な位置付けとなります。小学生を中高大学生が、中学生を高大学生が、高校生を大学生がという具合に、大人ではなくより身近な先輩と活動し、地域の大人（あらゆる産業のプロ）がサポートすることができる仕組み創りが重要になるのだろうと感じています。これから、皆様方にもご協力を宜しくお願いいたします。

活動に興味がある方はご連絡ください。詳細説明に伺いますのでお待ちしております。